

★農 A-1

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター 御中

申 請 書

別紙書類を添えて、有機農産物の生産行程管理者の認証を申請します。

☑をお忘れなく

(フリガナ) 申請者名	(アタミユウキセイサングループ) 熱海有機生産グループ	代表者	自農 太郎	書類等 受領方法
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 △△市 □□町 1-2-3			☒ 郵送
(事務連絡先)	〒 -			☐ 郵送
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX 番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	☐ FAX
ホームページアドレス	(http://)	Eメール (携帯電話不可)	ninshou@ml.infrc.or.jp	☒ Eメール
申請日 (作成日)	20〇〇年 〇月 〇日			
認証以外の情報 (イベント情報 など) の受領を希望する	☒ はい ☐ いいえ (個人情報の取扱については、個人情報保護法に基づき認証に関する利用と左記の目的以外には利用しません)			
農水省ホームページへ事業者詳細情報の掲載を希望する	☒ はい ☐ いいえ 「はい」の場合は、別紙「有機 JAS 認証事業者一覧詳細 掲載希望回答用紙」の提出			

※「申請者名」は認証書に載せるタ (事業者名) です。グループの場合はグループ名を、農家単独申請の場合は個人名や〇〇農園などと記入して下さい。

※所在地に有機 JAS 担当者 (個人)「重政連絡先」に有機 JAS 担当者と連絡がとれる場所を記入して下さい。

※「書類等受領」 認証事業者は基本情報が公表されますが、これとは別に詳細情報(連絡先、ホームページ、取扱品目など)の公表も希望する場合は「はい」に☑して下さい。(別紙の提出も必要。)

(先住所)、FAX、Eメールから選択して☐にチェックを入れて下さい(複数選択可)。

★農 A-2

20〇〇年 〇月 〇日作成

生産行程の管理及び格付の体制

生産行程の管理または把握と格付を担当する者の全ての氏名を記入して下さい。

[illegible]

※上表に記載のある担当者は全員略歴書を提出する必要があります。

書 歷 略

(フリガナ) 氏 名		(ジノウ タロウ) 自 農 太 郎		生 年 月 日 19〇〇年 〇月 〇日		西 暦 19〇〇年 〇月 〇日	
住 所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市 〇〇町 1-2-3 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇					
略 歴	年 月 日		学 歴 ・ 職 歴 ・ 配 属 部 署 ・ 就 農			備 考	
	19〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇県立△△農業高等学校卒業			最終学歴を明記してください。大学等で農業生産に関する授業科目の単位を取得した場合はその併せて記載して下さい。	
	19〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇農業試験場本科卒業				
	19〇〇年〇〇月〇〇日		J A 〇〇入社・営農指導に携わる				
			また兼業にて農業に従事始める			いつから農業に従事かがわかるように記載下さい。	
	20〇〇年〇〇月〇〇日		J A 〇〇退社				
	20〇〇年〇〇月〇〇日		専業農家となり現在に至る				
資格・賞罰等		講習会受講日※ (講習会開催機関名)		20〇〇年 〇月 〇日 (自然農法センター)			
〇〇年〇〇月	普通自動車免許						
年 月		以上の通り相違ありません					
年 月		20〇〇年 〇月 〇日					
年 月		氏 名		自 農 太 郎			
年 月							

※講習会未受講者は、受講予定日を記入して下さい。

★農 A-4 肥料及び土壌改良資材リスト (1 枚目)

20〇〇年 〇月 〇日作成 確認者: 自農 太郎

我々は本リストに記載した資材のみを用いて肥培管理等を行う事を報告します。下記内容を変更する場合は事前に報告します。

No	資材の正式名称 (愛称、略称等)	会社名	資材証明書の年月日 (評価済みリストを確認した日)	農 A-4 記載 年月日	使用目的	備考 (標準使用量等)
1	魚粕粉末 5 号 (魚 粉)	〇〇肥料(株)	2022. 10. 10	2022. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
2	なたね油粕粉末 (油 粕)	(株)△△油脂	. 21		自家製資材 の原材料	
3	SMK 菌 (S M K)	□□微生物研究所	. 15		自家製資材 の原材料	
4	糖 蜜	◇◇製糖(株)	2022. 11. 20	2022. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
5	◎◎有機育苗培土 (◎◎培土)	◎◎培土開発(株)	2023. 2. 10	2023. 2. 20	育苗用土	
6	牛ふん堆肥 (牛ふん▼▼)	▼▼牧場	2023. 2. 15		元肥	年間 0.5~1t/10a
7	牛ふん堆肥 (牛ふん○×)	○×牧場	2023. 2. 19		肥	年間 0.5~1t/10a
8	スーパー■	バイオ■(株)	2023. 8. 15	2023. 8. 20	追肥	必要時に残布 (500~1000 倍 を 20~150 L/10a)
9	★★★★グリーン	★★★★製造所	2023. 12. 10 確認	2023. 12. 15	土壌改良 元肥	年間 1~2t/10a 登録番号 JASOM-123〇〇〇
10	有機 JAS 資材評価協議会などの適合性評価済みリストに登録のある資材は、登録を確認できれば使用可能です。同会の HP などでは評価済みリストを確認した日を記載、備考欄には JASOM-〇〇〇〇〇〇の登録番号を記載して下さい。					

※自家製資材

※「資材の正式名称」

※有機 JAS 資材評価協議会の適合性評価済み資材リストで、資材の適合を確認した場合は、「資材証明書の年月日(評価済みリストを確認した

※育苗に使用する培土、ほ場での肥培管理や土壌改良等に使用する資材を記載して下さい。自家製資材がある場合は、その原材料をこのリストに掲載し、製造方法を農 D-1「自家製資材の製造方法」に記載して下さい。

※資材を追加する場合は、必ず使用前に資材証明書を取得し、当センターにその資材の適合の可能性を確認してから使用して下さい。米ぬかや籾殻は外部入手のものでも資材証明書の取得は不要です。